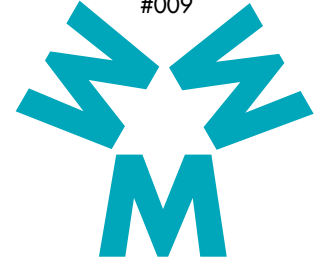




## Mag-on Your Challenge

#009



アスリートの挑戦に、マグネシウムを

### 小池 賢さん

トライアスリート/naranun 代表  
2015 世界ロングディスタンストライ  
アスロン選手権日本代表



### Ken Koike

51.5kmの日本選手権（東京・お台場）などで活躍するトライアスリート。2014年には、日本ロングディスタンストライアスロン選手権（新潟・佐渡島）で3位に入り、世界選手権への出場権を獲得。今年6月にスウェーデンで開催された世界選に日本代表として初参戦した。地元・千葉県習志野市を拠点とするランニングクラブ「ならしのRUN」(naranun)の代表を務め、ランナーやトライアスリートへの指導も手がけている。

現在36歳、トライアスロンの競技歴は8シーズン目。プロトライアスリート小池賢さんは、プロカテゴリーで活躍する同世代のトライアスリートの中ではキャリアの浅い部類に入るだろう。51・5 kmの場合、大半が大学時代から競技を始める現在のトライアスロン界において、大学卒業後に本格始動し、活躍し続ける選手は珍しい。

「トライアスロンに関しては、学生時代に競泳に打ち込んでいたこともあり、意外にスムーズにできました」

キャリアをスタートさせてからは、順調に成績を伸ばし、2008年からは7大会連続で51・5 kmの日本選手権にも出場している。

「体力的なピークが過ぎてからのスタートだったので、ほかの選手と違い『落ちていく自分と戦う』ことが少なくなくて、そういう意味ではエイジに近いかもしれないですね。今は選手の活動と並行してコーチもしています。トライアスロンだけではなく、ラン、スイムと一般の方にも指導をしているのですが、そういう意味でもアドバースできることは多いかもしれないですね」

これまで51・5 kmを主戦場としてきたが、今年6月、初めてロングディスタンスにチャレンジした。

「マグ・オンはスティックタイプをメインに、ジェルも補給食として持っていました。今まではなかったんですが、最近ランでケイレンすることもあって、年齢のせいかな、日々のコンディショニングも大切さが分かるようになりました」

今後は積極的にアイアンマンディスタンスにもチャレンジする予定だ。同じ競技の中でも、距離が違えば感じ方

闘い続けるアスリートを応援する  
《水溶性マグネシウム》

# Mag-on (マグ・オン)

## 不足しがちなマグネシウムを素早くチャージ

毎日のトレーニングやレースでの発汗、ストレスなどにより失われる必須ミネラル「マグネシウム」を効果的に吸収。Mag-onは、高純度な国産のマグネシウムを、素早く溶けて、吸収率の高い水溶性に加工した、アスリートのためのサプリメントです。

## エネルギーと一緒にMgチャージ！ おいしさも好評のエナジージェル

エナジージェルに水溶性マグネシウムをプラスしたMag-onジェルタイプがついに登場。エネルギー切れやマグネシウム不足による急激なパフォーマンス低下が気になる人に。



両フレーバーとも甘過ぎずさっぱり爽やかな味で、飲みやすさも追求

エネルギー120kcal

**マグネシウム50mg**

1個41g フレーバー/ウメ、グレープフルーツ

## 上質なコンディショニングや ガツンとMgチャージしたいときに

30包入り ¥6,900 (税別) 8包入り ¥2,000 (税別)

**マグネシウム200mg**

1包3.7g

レモンフレーバー/顆粒タイプ カルシウム、各種ビタミン類も配合



30  
Packets

8  
Packets

Coming soon !

待望のドリンクパウダー、誕生。

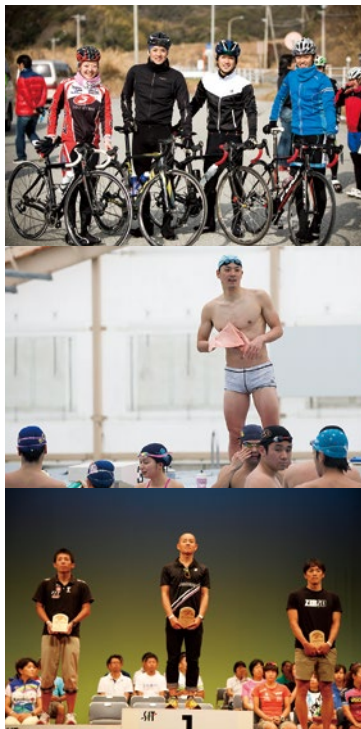
**Mag-on® Water**

(マグオン・ウォーター)

9月発売予定

が違ふ、あらためて楽しいスポーツだと考えるようになったという。「性格的に自分はロングも楽しめるよ」なので、今後はほとんど挑戦したいですね。長い競技時間の間、何が起るかわからないし、何が起ってもリカバリーできるかもしれない。これからいろんなことが経験できそうワクワクしていますよ」

出遅れ気味でスタートすることを恐れはしない。自分を奮立たせるものがあるからだ。挑戦することに「遅い」なんてことは決してないのだ。



チャレンジの始まりは  
いつだって遅くない

